

ブドウ盛土式根圏制御栽培における葉焼け発生要因

福島県農業総合センター 果樹研究所 栽培科

1 部門名

果樹－ブドウ－生理障害

2 担当者名

尾形亜希子

3 要旨

ブドウ施設栽培では、夏季はハウス内が高温になりやすく、葉焼けや日焼け果の発生が懸念される。所内ハウスの盛土式根圏制御栽培ブドウ「シャインマスカット」では、2023～2024年に葉焼けが3回発生したため、発生直前の環境条件等を確認したところ、ハウス内の温度だけでなく、盛土内の水分不足により発生する可能性が認められた。

(1) 所内ハウス内の盛土式根圏制御栽培「シャインマスカット」では、2023年7月26日、2024年7月16、30日に葉焼けの発生が確認された。確認直前（前日～3日前）の棚面の温度は35℃を超えていた。

(2) 2023年及び2024年の7月において、棚面の温度が35℃以上だった日は33日あり、葉焼けの発生が確認される直前には盛土内の土壌水分率が著しく低下していた（図1）。

(3) 葉焼けの発生は、ハウス内の温度だけでなく、土壌中の水分量も影響する可能性があり、ハウス内の高温対策の実施と、急な気象変化（曇天後の急な晴天など）の際はかん水量を増やすなど水分管理に注意する必要がある。

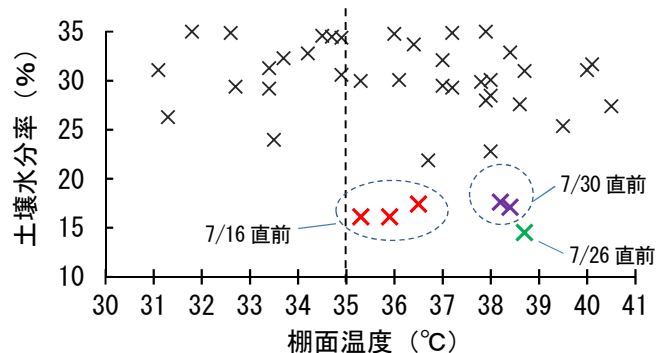


図1 2023年及び2024年の7月における棚面の日最高温度と盛土内の日最小土壌水分率

4 成果を得た課題名

(1) 研究期間 ①令和3～5年、②令和5～11年度

(2) 研究課題名 ①スマート農業プロセスイノベーション推進事業〔農林水産分野の先端技術展開事業 (JPJ009997)〕、②育成センサーの開発と日本のスマート農業の創出〔福島国際研究教育機構 (F-REI) における農林水産研究の推進委託事業〕

本研究は、農林水産省 (令和3年度～令和4年度)・福島国際研究教育機構 (F-REI) (令和5年度) の農林水産分野の先端技術展開事業のうち、「社会実装促進業務委託事業 (農業分野)」 (JPFR23060110、JPFR 24060110)、福島国際研究教育機構 (F-REI) における農林水産研究の推進委託事業 (JPFR24020102) により実施した。

5 主な参考文献・資料

(1) 遠藤ら, 水稻育苗ハウスを有効活用したブドウの盛土式根圏制御栽培, 令和5年度普及に移しうる成果